資料２－２

平成25年度　事業報告

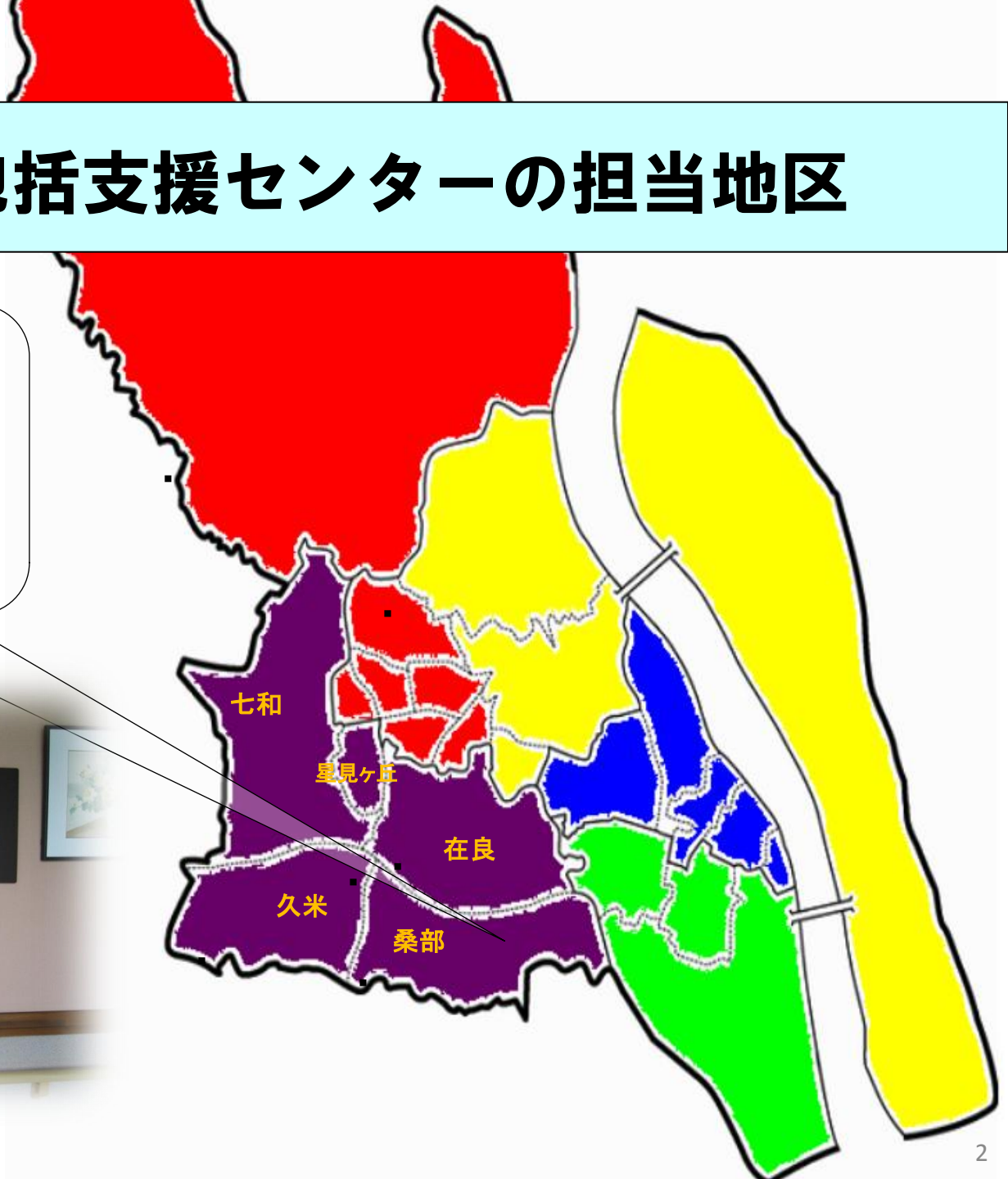
～　住み慣れた地域で　安心して暮らす　～

桑名市西部地域包括支援センター

西部地域包括支援センターの担当地区

桑名市西部地域
包括支援センター

365日



西部地域包括支援センター
事業所内の風景

包括スタッフ

- センター長　１名
  （法人施設長兼務）
- 社会福祉士　２名
- 看護師　１名
- 主任介護支援専門員1名
- 介護支援専門員　1名

平成26年7月11日現在

地域包括支援センター職員としての基本的な視点（大切に思うこと）

- 「自立支援」を基本とし、住み慣れた地域でその人らしい生活を支援すること
- 高齢者の意思を尊重し「権利擁護」の視点に基づく支援であること
- 相談者等のプライバシーを尊重すること
- 本人、家族、地域の特性に応じ「包括的・継続的」に支援すること
- 中立・公正な立場であること
- 「チームアプローチ」の視点をもつこと
- 専門性の向上を図ること
- チームワーク、情報共有、ネットワーク

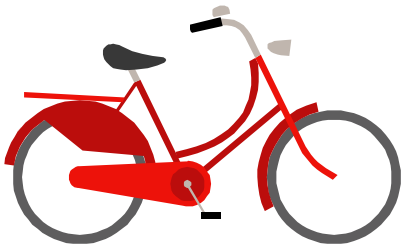
社会環境は変化する

人口、経済、産業等の影響を受け、
地域社会環境は変化している。

例えば…

・街の商店街が消えていく
郊外には大型ショッピングセンターが…

広々とした店内、遠いレジ！
駐車場も広くて・・・
私の車はどこ？
歩いて行く？無理！無理！



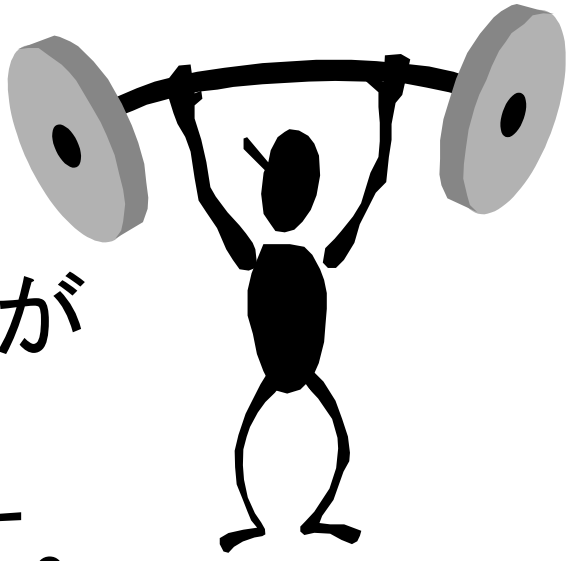
地域で高齢者に迫る危機

- 高齢者虐待
- 介護殺人・無理心中事件
- 孤独死、孤立死
- 栄養失調、衰弱、
- 交通事故
- 悪徳商法による被害
- 権利擁護システムの課題　　などなど

私たちを取り巻く 新たな社会問題

- 認認介護、老老介護、若年性認知症、・・・
  認知症介護者に監督責任、賠償命令！？
- 消費者被害・・・新たな手口
- 認知症高齢者の増加・・・**市民後見人**
- 「おれおれ」振り込めはもう古い？
  「母さん助けて！」「母さん持ってきて！」
- **介護離職**
- **在宅での看取り**、高齢者多死時代　などなど

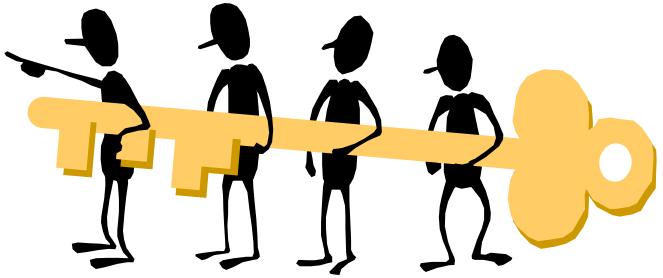
このような社会背景の中、
私たちは、高齢者やその家族が
安心して暮らせる地域づくり
のため日々、努力しております。



でも、私だけでは絶対に無理！

だからこそ、ネットワーク

そして、チームワーク



私たちと地域との関わり

民生委員、地区社協、自治会との連携

地域住民、地域のサークル、地域の医療機関

地域の・・・

情報交換・情報共有のために定例化を図る

西部包括ミーティング（月2回）

民生委員区域会への参加

高齢者相談員との連絡・調整会議

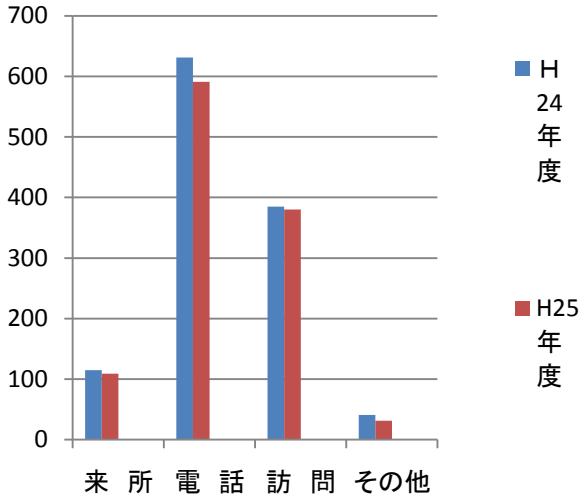
地域密着型事業所運営推進会議

平成25年度　総合相談

- **総合相談**

  相談者実人数　　359人

  総合相談回数　1,111回

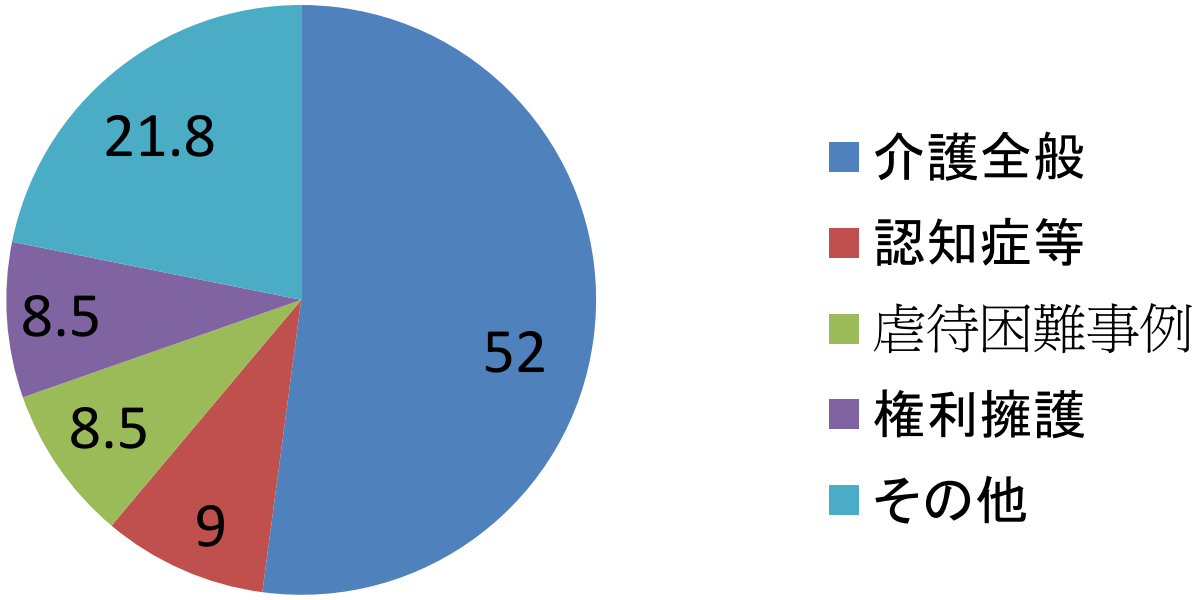


- **総合相談　相談方法別件数（件）**

来所	電話	訪問	その他	合計
115	631	385	41	1111

平成25年度　相談内容別件数

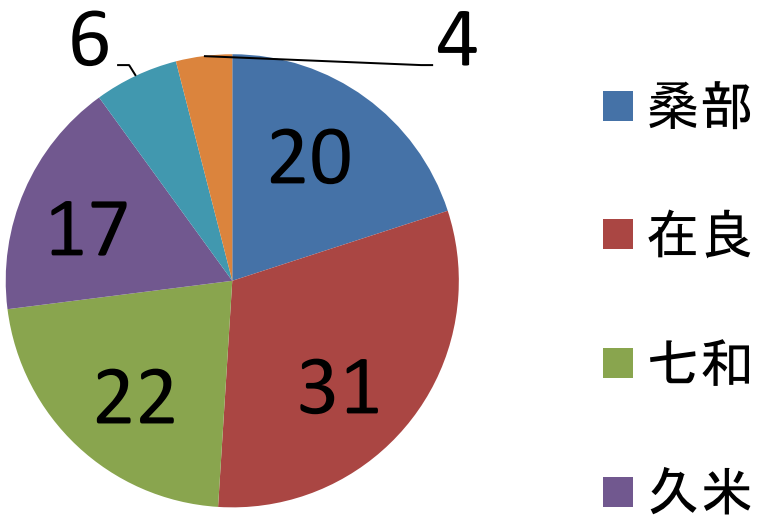
介護全般	認知症	虐待・困難事例	権利擁護	その他
743	129	122	122	312



平成25年度　地区別相談者実人数

※高齢化率平成26年3月末現在

	桑部	在良	七和	久米	星見ヶ丘	その他	合計
相談者実人数	71	110	80	61	23	14	359
高齢化率（%）	25.2	31.6	24.4	19.5	5.7		



西部地区高齢者人口
7362　人

西部地区後期高齢者人口
3262　人

西部地区高齢化率
21.8　%
（平成26年3月末現在）

平成25年度

総合相談・連絡調整及び実態把握件数

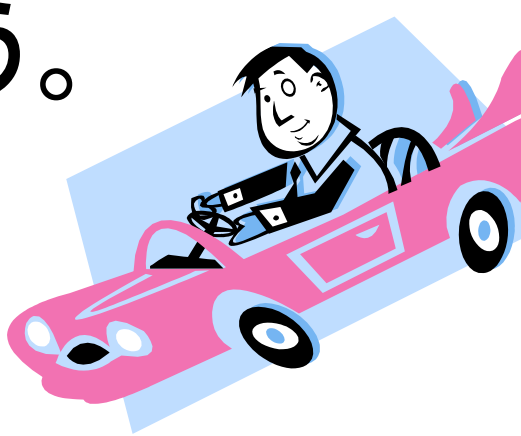
	来所	電話	訪問	その他	合計
相談対応	109	591	380	31	1111
連絡調整・実態把握	72	1007	433	93	1605
合　計	181	1598	813	124	2716

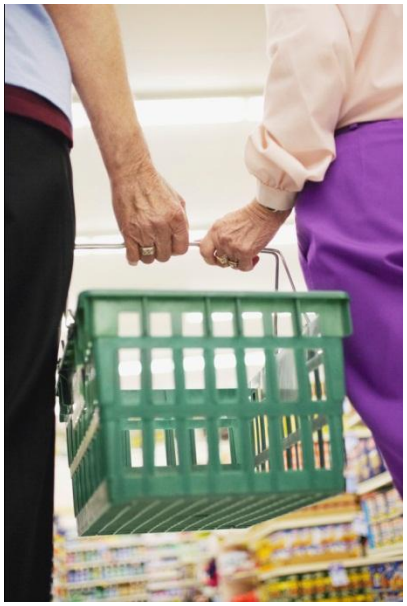
平成25年度　高齢者虐待件数

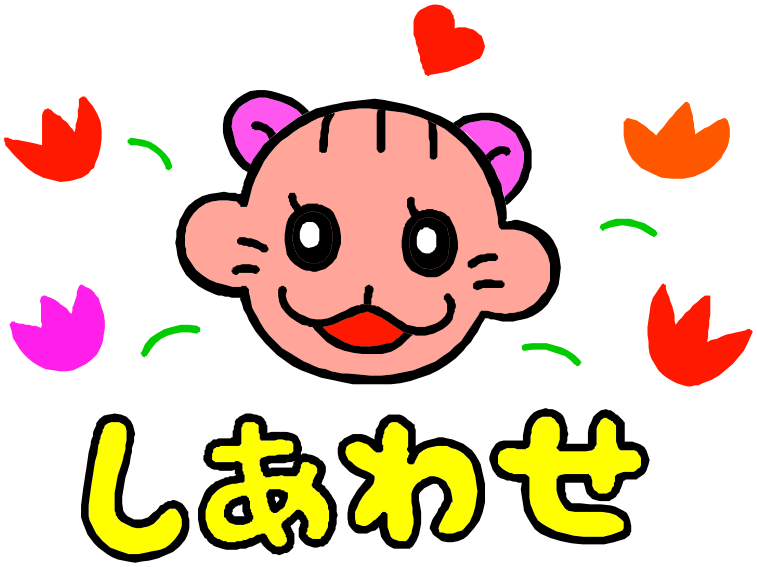
高齢者虐待通報件数		11
事実確認を行った件数		11
虐待と判断した件数		8
被虐待者性別	男性	1
	女性	7

経済	3
身体・心理・経済	2
身体・心理	1
心理・経済	1
身体	1

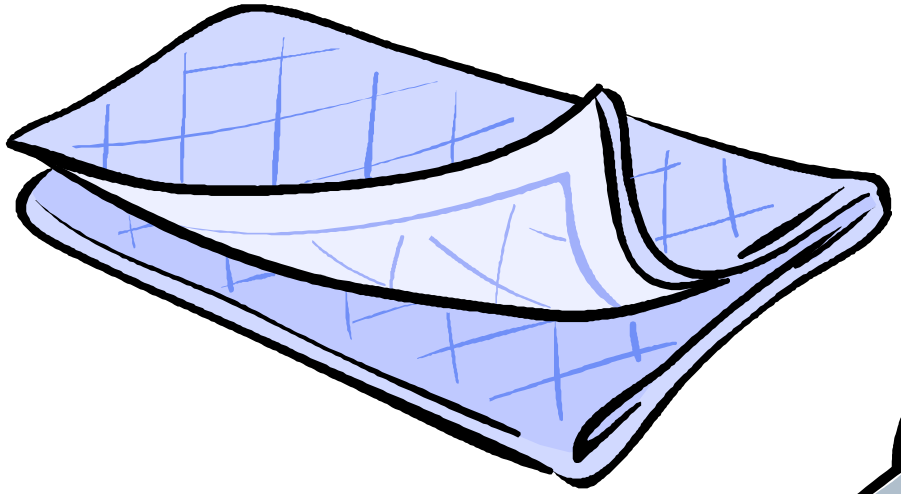
買い物？一緒に行きましょう。
僕が乗せて行ってあげるから。
かごは僕が持ちましょう。
あっ！生活費ですね





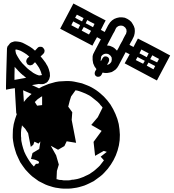


ところで、良い布団があるんです
大丈夫！大丈夫！任せて！
ここと、ここに、名前書いてね…



消費生活相談センター＆ご近所パワーでやっつけろ！

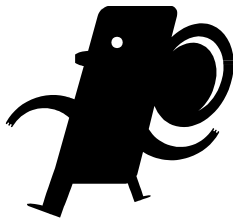
- 消費生活相談センターに相談
- 警察との連携
- 業者を探し出し、お金返して！
- 見つけたら追い返せ！お断り！
- 地域に寄せ付けない！
- 権利擁護
- 危険は**回覧板**でもお知らせ



地域にSOSは出ていないか

- おたっしゃ訪問、ニーズ調査、広報
- 介護予防教室、介護者のつどい、サークル
- 民生委員、地区社協、自治会との連携
- 老人クラブ、サークル、お茶飲み友達、ご近所
- 近所のお店、新聞屋さん、ヤクルトさん
- 住宅の管理人さん
- 介護保険サービス事業者　　などなど

SOS出せない人もいる！



地域のお店です

新豆です
きららのさと

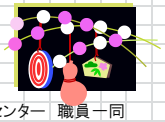
西部包括だより発行（3回／年）

回覧

西部包括だより

平成26年1月号

新しい年がスタートしました
みなさまにとって佳き1年となりますようお祈り申しあげます
どうぞ今年もよろしくお願いいたします



桑名市西部地域包括支援センター　職員一同

参加者募集

～介護者のつどい～

介護者教室 自助具のおはなし

「自助具」をご存知ですか？
ちょっと動きにくくなった自分の体の動きを
ちょっと手助けしてくれる小さな道具たち。

「これがあれば、自分で出来る。」

そんな、自信を取り戻せる工夫に満ちた「自助具」の
紹介を行います。

開催日　**平成26年2月14日（金）**

- ◆時　　間　10：00～11：30
- ◆会　　場　桑部公民館　2階学習室（桑部地区市民センター内）
- ◆参加対象　自宅で65歳以上の方を介護している
  西部地区（在良・久米・桑部・七和・星見ヶ丘）に
  お住いの方
- ◆申込み先　桑名市西部地域包括支援センター
  電話／25－8660　FAX／25－8661

ほけん便り

生活のリズムを整えよう！

みなさん、年末年始はいかが過ごされましたか？
「**寝正月**」「**正月太り**」と言われるように、
年末年始は生活のリズムが乱れがちです。
生活のリズムが乱れると、**感染症**などにもかかりやすくなってしまいます。
以下の事を意識して生活のリズムを整えましょう。

1. 十分な睡眠をとりましょう
2. 1日3食バランスよく食べましょう
3. 手洗い・うがいを心がけましょう
4. 早寝・早起きを心がけましょう

消費生活情報

気を付けましょう！

還付金詐欺に注意！

だまされないで！

還付金をATMで返還することはありません。
警察・銀行を名乗る人に通帳・カードを
渡さない！教えない！

おたっしゃ戸別訪問
実施中！

桑名市地域包括支援センターの事業として「おたっしゃ戸別訪問」を実施しております！皆さまのお宅を訪問し、お話を伺う事がありますので、その際はご協力お願いいたします。

発行／桑名市西部地域包括支援センター
〒511-0922　桑名市大字西金井字村中170番地
電話：0594－25－8660　FAX：0594－25－8661

こんにちは！

桑名市西部地域包括支援センターです

西部地域包括支援センターでは、
看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員（ケアマネジャー）の
専門職が連携して、下記のように、高齢者のみなさんの支援を行います！
地域包括支援センターは、桑名市の委託事業です。

悩み　疑問　一人で抱えこんでいませんか？　相談ごと

たとえば、こんな相談・・・

◎ 介護保険の手続きをしたい
◎ お風呂に入るのが難しくなってきた
◎ ひとり暮らしでもしもの時が心配
◎ もしかして虐待かも…
◎介護のこと、認知症のことを教えてほしい
◎どんな保健福祉サービスがあるの？
◎訪問販売で不要なものを買ってしまった
◎近所の高齢者が心配

★住み慣れた地域で、安心して生活ができるように支援します

皆さんのいろいろな相談に対応します。訪問も可能です。
医療機関、ケアマネジャー、福祉サービス、介護保険外サービス、
地域、行政など、必要に応じて連携し支援します。

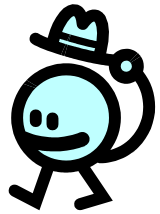
“介護予防教室”“介護者のつどい”　を開催しています

ぜひ一度、お気軽にご連絡ください。訪問もいたします。

年中無休　**相談内容など秘密は守ります**　**相談無料**

名　称	**桑名市西部地域包括支援センター**
住　所	**〒511-0922　桑名市 西金井 村中 170 番地** **特別養護老人ホーム　いこい　内**
電話	**２５－８６６０**
ＦＡＸ	**２５－８６６１**
担当地区	**桑部・在良・七和・久米・星見ヶ丘**

←個別訪問等で配布しています。



医療機関との連携も大切！

「認知症」早期発見のめやす　（認知症の人と家族の会作成）

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。

医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

いくつか思い当たることがあれば、一応専門家に相談してみることがよいでしょう。

・物忘れがひどい

- □ 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- □ 同じことを何度も言う・問う・する
- □ しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- □ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

・判断・理解力が衰える

- □ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- □ 新しい事が覚えられない
- □ 話しのつじつまが合わない
- □ テレビ番組の内容が理解できなくなった

・時間・場所がわからない

- □ 約束の日時や場所を間違えるようになった
- □ 慣れた道でも迷うことがある

・人柄が変わる

- □ 些細なことで怒りっぽくなった
- □ 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- □ 自分の失敗を人のせいにする
- □「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

・不安感が強い

- □ ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- □ 外出時、持ち物を何度も確かめる
- □「頭が変になった」と本人が訴える

・意欲がなくなる

- □ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- □ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- □ ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

相談・問い合わせは、桑名市西部地域包括支援センターへどうぞ

電話：25－8660　　FAX：25－8661

「認知症」早期発見のめやすとしてチラシ裏面を活用しています

平成25年度　いきいき教室参加人数

	参加者数	（人）	修了者（人）	平均年齢（歳）
男	新規　4 リピーター　1	5	5	78
女	新規　23 リピーター　7	30	27	75.9
合計	新規　27 リピーター　8	35	32	76.2

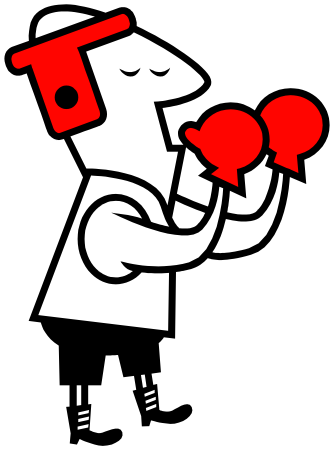
平成25年度　介護予防教室

参加延べ人数663人　開催数58回

会場	開催回数
宅老所	11
公民館	11
自治会館・集会所等	18
施設、地域にある会場等	18

- 健康レクササイズ
  （音楽に合わせて筋力アップ）
- ストレッチとバランストレーニング（気功）
- 口腔ケア
- 認知症について
- 熱中症予防
- インフルエンザ予防
- 消費者被害防止　などなど

身近な場所で介護予防教室



回想法で元気を取り戻す
昔頑張っていた自分に気づく
若い世代に伝えていきたい
戦争のこと、伝統行事、食べ物・・・

隣近所と助け合い、認めあう地域社会づくり

- 介護者のつどい、介護予防教室
- 認知症サポーター養成講座
- 認知症実践者研修　講師
- 認知症早期発見のチラシ作成
- 認知症事例検討会
- 認知症に関する研修の受講

などなど

介護者のつどい（介護者教室）

ほっとできる時間
これは役に立つ！時間
「私だけじゃない」と感じられる時間

介護者教室（自助具の話、口腔ケア）・座談会
男性介護者のつどい・日帰りバスツアー　などなど

介護支援専門員支援への支援

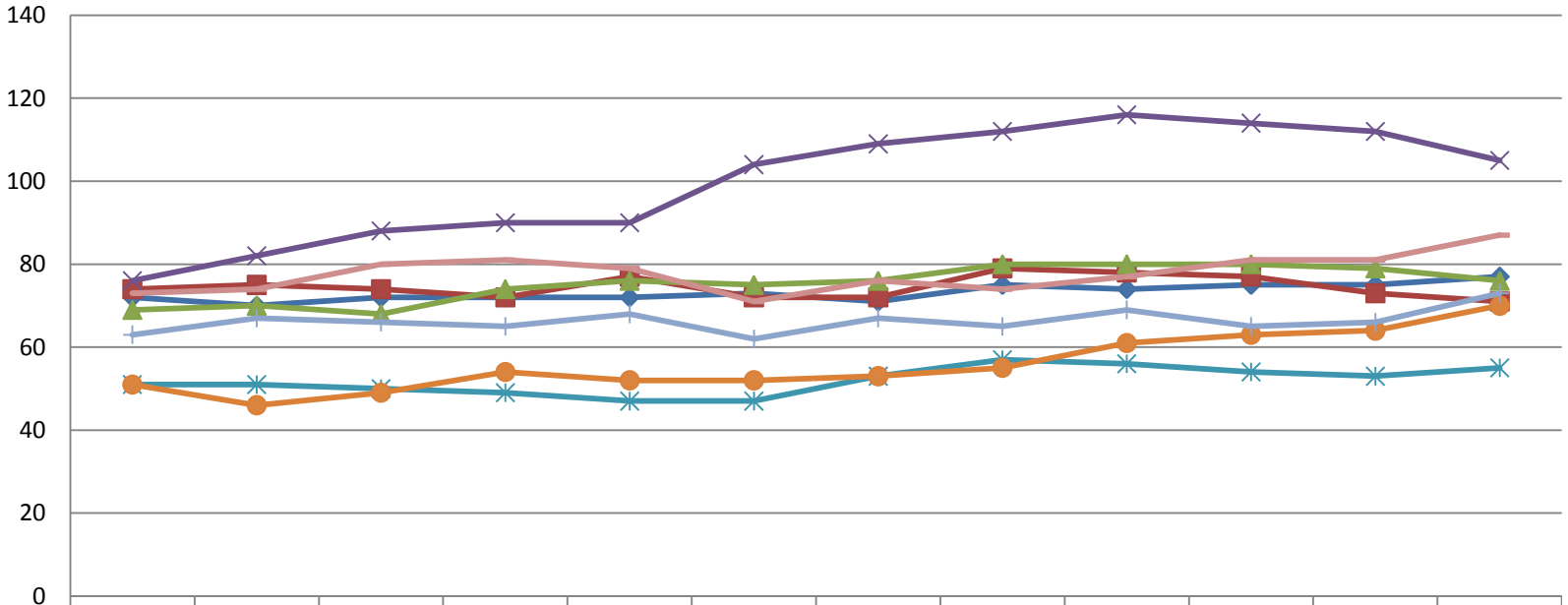
◎ケアマネ交流会開催

- 開催数　6回
- 参加延べ人数　54人
- 主な内容　事例検討会　情報交換　　座談会

◎介護支援専門員からの相談件数

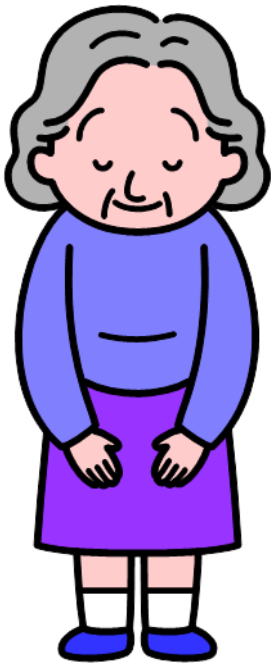
・相談人数　　75人

年度別予防プラン作成数の推移



	４ 月	５ 月	６ 月	７ 月	８ 月	９ 月	10月	11月	12月	１ 月	２ 月	３ 月
22包括	72	70	72	72	72	73	71	75	74	75	75	77
23包括	74	75	74	72	77	72	72	79	78	77	73	71
24包括	69	70	68	74	76	75	76	80	80	80	79	76
25包括	76	82	88	90	90	104	109	112	116	114	112	105
22委託	51	51	50	49	47	47	53	57	56	54	53	55
23委託	51	46	49	54	52	52	53	55	61	63	64	70
24委託	63	67	66	65	68	62	67	65	69	65	66	73
25委託	73	74	80	81	79	71	76	74	77	81	81	87

終わりに

- その人にとって何が必要なのか、どのようにすれば気持ちが落ち着くのか、安心して暮らしていける地域とはどのような環境なのか、わたしたちは考えていかなければならない。
- 「今まで人生いろいろあったけど、最期はまあ、良かったな。」そう言っていただける援助者でありたいと思います。
- 押し付けない、あきらめない、お互いさま

ご清聴ありがとうございました